

## 「ぶらぶら散歩番外編」

27日（土）曇り後晴れ

## 「もう一つの山寺」

最初は山寺と面白山紅葉川ハイキングの予定でしたが、例によって好奇心旺盛なリーダーが、観光案内で、垂水不動尊と面白山の情報収集。私たちのやり取りを聞いていた外国人の案内人が話に割って入り、垂水不動尊をすすめたので、宿で検討し、急きょ行先変更。本格的な山ではできない事ですが、ぶらぶら散歩ならではの企画となりました。

JR 山形駅（7:55）—仙山線—（8:14）山寺駅（8:25）—（車道歩き 23分）—（8:49）宝珠山立石寺千手観音堂 —垂水霊塚、垂水不動尊—馬場跡—城岩七岩—修験場跡—峯の浦本院跡—山寺霊園（10:20）—大休止山寺・立石寺参拝（11:00～13:00頃）—昼食—山寺駅（13:57）—山形駅



## 峯の浦コース

地元の人に道を尋ねながら車道を歩いていると、突如目の前に小さな瀕死のイノシシが横たわっている現場に遭遇。びっくりした私が後ずさりすると、かすかに頭をもたげ、また、ぐったりと動かなくなってしまいました。かわいそうに。傷が無い所を見ると、崖から落ちたのでしょうか。それとも食べるものがなかったのでしょうか・・・



案内板が立っているところを左手に入り、仙山線の柵もない線路を一跨ぎでこえると、すぐに宝珠山立石寺千手観音堂です。その人に垂水不動尊の場所を教えてもらい地図で確認。墓場の横を通って山に入りました。沢に沿った道を10分も行くと垂水遺跡につきました。



ハチの巣状に穴の開いた岩場の修験場跡です。元海底だったところが隆起したようです。垂水不動尊跡は山寺を開山した慈覚大師円仁の修行宿跡で大正時代ごろまで山伏の住居修行の姿があったようです。ハチの巣状の岸壁に、観音様の姿、穴、洞には古峯神社、稲荷神社が、穴の割れ目の中程には不動明王が祀られていましたが、写真に収めることができませんでした。



(山道)



(修験場跡)



### 峯の浦本院遺跡

案内板にはもう一つの山寺と呼ぶにふさわしい遺跡が秘められているところとの説明が書かれていました。

誰にも会わず、芭蕉の「閑けさや 岩にしみいる 蟬の声」の雰囲気に身を置くことのできたひと時でした。

## 立石寺参拝コース



(芭蕉と曾良の像)



(句碑)



(昔の句碑)



(立石寺・三重小塔)



## 感想

夏休みに入ったこともあって、立石寺には多くの観光客であふれかえっていました。おまけに暑くて暑くて、静けさを味わっているところではありません。

峯の浦コースから立石寺コースだったので、ここはかすんでしまいました。それくらい垂水遺跡は静かで当時の芭蕉をしのぶことができました。 (記・Sasak)



28日(日)曇り後雨

## 蔵王

蔵王温泉・蔵王ロープウェイ山頂線(9:00) — (9:20)山頂駅(9:32) — (10:08)ワサ小屋跡 — (10:38)熊野岳(10:42) — 馬の背 — (11:36)刈田岳 — (11:45)山頂レストハウス(昼食) — 13:00のバスで白石蔵王駅へ (3.5Km)

あいにくの天気で視界悪し。遠刈田温泉から白石蔵王駅に出るには、蔵王温泉駅から刈田岳山頂でバスに乗るしかない。しかも、バスは祝・日曜日だけ運行。ならば、蔵王を歩こうということでロープウェイに乗る。

山頂付近は、ガスっていて、非常に視界が悪く、コンパスを合わせ、木道の観察路を歩く。花は余り咲いていない。目に付くのはオトギリソウやコバイケイソウかバイケイソウ(花が咲いていなかったの?)ばかり。

滑らないように木道を歩く。熊野岳は岩稜の登りですが、80mくらいだったので、順調につきました。ここで案外多くの登山者と出会いました。(それまでは2~3人)

馬の背は晴れていれば、御釜が見え、コマクサにも出会えるかもしれないのに、ガスから雨に変わり、ひたすら歩くのみでした。



ロープウェイ駅



マルバシモツケ



ウラジロヨウラク



ハクサンチドリ



ハクサンシャクナゲ



トウウチソウ



ワサ小屋跡



ワサ小屋跡にたつ山姥の像



熊野神社



熊野岳にて



オノエラン



刈田岳



ヤマハハコ

